

さつしりつよしだしょうがっこう
学校名 幸手市立吉田小学校
所在地 埼玉県幸手市惣新田3159番地
電話 0480-48-1042

1 本校の概要

本校は昭和59年4月に、旧吉田第一小学校と吉田第二小学校とを合併して新設した学校で現在児童数173名、学級数6学級の小規模校である。幸手市は埼玉県の東部に位置するとともに、本校は市内の東はずれの水田地帯にあり、江戸川をはさんで千葉県に接する。保護者はたいへん教育熱心で協力的であり、子どもたちも何事にも真摯に取り組んでいる。

2 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

本校では、学校図書館教育推進委員会を中心として全校的な取組を進めるとともに、学校経営の最重点目標に「みんなで読書8000冊」を掲げ、さらにコンピュータによる図書システムで学校図書館教育を充実させてきた。また、図書館教育の推進に当たっては、教職員ばかりでなく、児童の意欲的な取組また地域ボランティアや家庭との連携を図るとともに学校図書館協力員の配置を受け、広い視野から児童の読書指導に当たっている。

「みんなで読書8000冊」-本との思い出をつくらう-

- ・毎週木曜日に全校一斉朝の読書タイム
- ・各学級における読書記録の取組

- ・全校児童による「読書の木」の掲示

コンピュータによる図書システム

- ・個人カードによる貸出管理と読書履歴の把握
- ・ベスト100等、人気本の紹介委員会活動における児童の活躍
- ・コンピュータ操作(貸出、返却、検索)



- ・読書冊数の発表
- ・児童集会やポスターによる本の紹介
図書配架と分類表示の工夫
- ・教科等別による分類と本の配置
- ・背表紙に分類別色シールを貼って整理
学校図書館協力員との連携
- ・週2回来館(貸出、整理、環境整備)
- ・長期休業中の開館
- ・季節や行事に関連した本の紹介

(2) 家庭・地域等との連携

読み聞かせボランティア(保護者)



- ・朝の一斉読書の時間を利用し、月1回学級単位で実施

おはなしたまてばこ(地域)

- ・低学年、高学年別に、月1回の昼休みに自由に参加できる読み聞かせ

お話の森(市民ボランティア)

- ・年1回、市内のボランティア「お話の森」によるお話を実施

朗読講習会

- ・講師を招き、読み聞かせボランティアの保護者と教師が共に朗読の基礎を習得



図書室の環境整備



- ・明るく楽しく夢のあふれる、図書館ボランティア手作りのパッチワークによるカーテン等

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・貸出数は1万3千冊を超え、図書室利用が定着し、読書の生活化が進んでいる。
- ・児童が読み聞かせを楽しみにしている。

(2) 今後の課題

- ・一層の環境整備と読書の質的向上を図る。
- ・家庭での読書をさらに推進する。